1か月間に5か所へ食品支援！

報徳@なう

9月号



小田原市母子寡婦福祉会の鳥居会長と、報徳食品支援センターでの食品配布を視察に来られた小田原市 守屋市長。

小田原市母子寡婦福祉会で６０世帯を支援

八月二十三日（日）にＮＰＯ法人報徳食品支援センターのご厚意により、小田原市母子寡婦福祉会の「ひとり親家庭」にたくさんの食品を提供していただきました。

今まさに新型コロナウィルスの影響を受けて収入が減り、切りつめるところは「食費」と云う瀬戸際に立たされている親子にとって有難いプレゼントです。

今年度の食品支援は、５月６月８月と今回で３回目ですが、回を重ねる毎に支援希望者が増えている事がなにより、「ひとり親家庭」の窮状を物語っていると思います。これからもご支援を続けていただけますようお願い申し上げます。

【小田原市 母子寡婦福祉会 会長・鳥居幸子】

収入減少を食費で調整せざるを得ない母子家庭に食品支援を実施

延々と続いた梅雨も8月に入ってようやく終わって、猛暑が続く毎日となりました。また、コロナ禍が終息する気配も見えず、パートで暮らしている母子家庭のお母さん達が元の暮らしに戻れる兆しは見えません。

8月は、小田原市の他に2市8町のいくつかの町で、生活が苦しい母子家庭を中心に食品の配布会を行いました。私たちの活動が次第に拡がりをみせて来ています。

母子家庭の中でも生活の状況は様々です。小田原で見聞きした苦しい生活をされている方の例としては、コロナの前は月収が十四万円くらい。その中からアパート代、水光熱費、子どもの教育関係の費用、スマホ代金など諸々の固定費を差し引くと、食費に充てる費用は多くても4万円くらいだったようです。

しかし、コロナで収入が減って月収が十万円そこそこになってしまった。

そのまま減った金額分、食費を減らさざるを得なかったのです。

私どもが、食品を支援する大きな意味がここにあります。お金で支援すれば、食品以外の支出に使われる可能性があります。食品の現物をお渡しする事で、生活内容が維持できるようにしているのです。

8月は食用油やコーヒーなどのギフトセットをお配りした他、8月下旬の小田原市での配布会から冷凍野菜も始めました。野菜の値段が高い時ですからきっとお役に立ったと思っています。

これからも、支援を受けられる方々の立場になって、どういうお手伝いをすれば良いか考えて実現して行きたいです。

【副理事長　本岡俊郎】



↑左から田嶋享理事長、守屋市長、鳥居会長。

●報徳食品支援センターニュースレター「報徳@なう」
Vol.01 / No.002
●発行所
ＮＰＯ法人 報徳食品支援センター
●発行人：田嶋　享
●編集人：本岡俊郎
●編　集：千葉哲也
●電　話：０９０－３１０７-６４７７
http://小田原報徳フードバンク.com

8月の食品配布実績

【１】０３日（真鶴町社会福祉協議会）　５０世帯
【２】０６日（箱根はまゆう会・宮城野）２４世帯
【３】１３日（松田町食品配布会）　２０世帯
【４】１９日（箱根はまゆう会・仙石原）３０世帯
【５】２３日（小田原市母子寡婦福祉会）６０世帯



↑8月23日に配布された食品の一部。（1世帯分の一例）

●食品配布レポート

■八月六日■箱根町宮城野の「さくら館」にて、二十四世帯分の食品配布を実施しました。



↑パスタや調味料など、1世帯あたり 20kg 以上を配布しました。

■八月十九日■箱根町仙石原の「星槎大学箱根キャンパス」にて、三十世帯分の食品配布を実施。



↑パックライスやジュース等、1世帯あたり20kg 以上を配布しました。

【理事長より】



現在、私どもＮＰＯ法人報徳食品支援センターは、昨年十二月二十五日に神奈川県より認証を受けて、地域の皆様に食品の支援ができるようになっています。

私も福祉の関係で色々な方の話を聞きますと、日本の人口は減っていますが、生活が困窮状態の方は増えていると思います。今までは自分そして家族、親戚を中心に生活をして来たと思いますが、これからは社会全体で見守る必要があり、その為に少しでも多くの方々が、よりそって助け合い、明るい笑顔の街を作る必要があると思います。

先日、私は小田原にある「ゆりかご園」の子どもさんのためにジュース百本を届けました。その時に、秋田園長先生と話をしました。２市８町には６施設あり、皆さん元気で生活しているそうです。今後、このような施設は増えてくると思います。皆さんで応援しましょう。

【理事長　田嶋　享】

【お知らせ】

助成金により、冷凍ストッカーが導入されました。さっそく、志ある食品メーカー様から冷凍野菜や冷凍食品の提供が得られ、母子家庭などに冷凍食品の支援を行うことができました。

【これからの活動予定】

●九月七日（水）
箱根町で母子家庭への食品配布の会（箱根はまゆう会／会場：湯本・仲町集会所）

●九月十五日（水）
箱根町で母子家庭への食品配布の会（箱根はまゆう会／会場：さくら館）

【ボランティアの募集】

当ＮＰＯをお手伝い下さるボランティアを募集しています。http://小田原報徳フードバンク.com/

問い合わせ／☎０９０・３１０７・６４７７（担当・本岡）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

●編集後記

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

一部上場企業に勤めている高校の同級生が、ＳＤＧｓ活動の一環で、人気キャラクターの入った飲み物などを大量に寄贈してくれる。感謝！（哲）